

## 2022年度 大阪産業大学附属高等学校 学校評価

### 1 めざす学校像

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、平凡な日常生活をきちんと送っていくことこそ偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。日常生活の大切さ、努力の重要性を説く「偉大なる平凡人たれ」の建学の精神は、今、本校の次のような姿に現れています。

挨拶する声が響きあう学校。  
夜遅くまで自習室で学習する生徒。  
朝早くから自主練習に励むクラブ員。  
生徒一人ひとりの努力をもっと励ましていける学校をつくっていきます。

### 2 中長期的目標

1. 教学改革
  - (1) 授業内容の充実
  - (2) 人格の形成をめざして
  - (3) 生活指導の充実
  - (4) 課外活動の活性化
2. 進路指導の発展
  - (1) 進路指導部の充実
  - (2) 附属高校から大阪産業大学への内部進学対策
  - (3) 他大学への進学対策
3. 防災・安全対策
  - (1) 防災対策の徹底
  - (2) 安全対策の徹底

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [2023年1月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒 別紙「2022年度 アンケート結果のご報告」参照</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「授業アンケート」の結果</li><li>・「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」の結果</li><li>・「学校生活についてのアンケート」の結果</li></ul>	<p>令和5年9月25日(月)に学校評価委員会を開催。各委員の意見は以下の通り。</p> <p>保護者・保護者OBより</p> <p>生徒アンケートにおいて、ほとんどの質問に対して肯定的な回答率が高いことがわかり安心した。アンケートの回答結果から、生徒たちが授業や学校行事に積極的に参加しているという説明があったが、自分の子どももクラブ活動や学業に打ち込み、学校に楽しそうに登校している様子から、説明に納得がいった。人権・進路・生徒指導の取り組みに対して、生徒アンケートで肯定的な回答率が90%前後あり、学校の取り組みに対して生徒は高い評価をしている様子だとの説明があったが、人権、特にいじめについては、否定的な回答率が少なかったとしても、実際に悩みを抱えている生徒がいるわけで、さらに否定的な回答率が少なくなるように取り組んでもらいたい。</p> <p>1年生、2年生のアンケート結果から学校側の説明があったが、アンケートの質問内容が同じならば、2年生がこの1年間でどのように変化したか、1年前のアンケート結果と比較してもよくなったのではないかと。また、本校はクラブ活動が盛んで優秀な戦績も残しているが、そのことを知らないクラブ活動に関心がある保護者もいるので、学校から積極的に発信してもらいたい。</p> <p>地域住民代表より</p> <p>本校のボランティア部には、地域団体とともに子どもたちの放課後支援に協力していただき感謝している。また、他のクラブも地域の催しに積極的に参加して近隣の活動に活気を与えてくれている。地域住民の皆さんに情報誌を発刊しているが、そちらに取り上げられるように今後も地域の活動に参加してもらいたい。</p> <p>大学教職員から</p> <p>アンケートの質問「教員は生徒の疑問や質問にきちんと答えているか」に対して、肯定率が高くなっているが、大学で同じ質問を学生にした場合、このような数字が返ってくるか疑問である。また、学校からの説明で、ここ数年「授業に積極的に参加している」という質問に対する肯定的な回答が高くなっているとあったが、これはコロナ禍で活動が制限されてきた反動からの結果かもしれないと感じた。大学では自主性の尊重を掲げており、本校の結果を参考にしたい。</p>

3 学校の重点目標に対する評価結果

中 期 的 目 標	Plan		Do	Check	Action
	今年度の重点目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 教 学 改 革	(1)授業内容の充実 ア.魅力ある授業の展開	「授業はわかりやすいですか」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	ICT機器を活用し、生徒の視覚に訴える授業や生徒が主体的に取り組める授業に取り組んでいます。	肯定的な回答率91%で達成	生徒の主体性を引き出すための授業に引き続き取り組んでいきます。
	イ. ICT 教育の推進	「先生は、プロジェクターなど ICT 機器を積極的に活用している」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	本年度からの入学生に一人一台 Chromebook を所有させ、メタモジやclass-padなどのアプリを活用し、本格的に ICT 教育への取り組みを開始しました。	肯定的な回答率95%で達成	教員の授業でのICT機器の活用率は徐々に高まっていますが、今後も努力していきます。
	(2) 人格の形成をめざして ア. 地元から愛される学校づくり	学校関係者評価委員会での地域住民の方の意見	今年から再開された近隣の堇フェスティバル、城東区SARUGAKU祭に生徒会やクラブが参加し、地元の人たちとの交流を深めました。	地域の催しに参加してもらい、非常に盛り上がったとの感謝の言葉をいただきました。	今後も積極的に地元の人たちとの交流をおこない、本校の教育活動に対する理解を深めていただくように努めます。
	イ. 平和・人権教育の推進	「学校はいじめを許さないようにしっかり取り組んでいる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率90%以上	いじめ実態調査(年3回)、人権フォーラム(6月)、人権教育週間(9月)、人権啓発週間(11月)を実施し、人権の啓発に取り組みました。	肯定的な回答率90%で達成	本年度から、悩みを抱える生徒に寄り添う機会の多い人権教育推進部、教育相談室、保健室の連携を円滑にするために、それらの部署を統轄する生徒支援部を設置しました。組織の整理に留まらず、機能するように努めていきます。
	ウ. 「面倒見の良さ」と「厳しさ」の両面から迫る教育の実践	「授業のルールを守るように先生は注意していますか」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	クラス担任と教科担当者やクラブ顧問、クラス担任と保護者との連携をとりながら、学力・生活指導を進めました。問題を抱える生徒に寄り添う一方で、甘やかせることをせず、指導に当たりました。	肯定的な回答率94%で達成	生徒の授業中の態度については、教員によって生徒への指導に不均衡がないように、教員間で意思の疎通を図っていきます。
	エ. 学校行事を通じて生徒の積極性を引き出す	「生徒は、学校生活によく取り組んでいる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	コロナ感染に対する行動制限が徐々に緩和されていったものの、学校行事は完全に以前の状態に戻るということはありませんでした。そうした状況の中でも、行事を通じて生徒たちが一体感を持てるような工夫をしました。	肯定的な回答率91%で達成	コロナ感染の中、限られた条件の中で様々取り組んできた経験を活かし、現状に甘んじることなく、常に工夫を重ねていきます。
	(3) 生活指導の充実 ア. 挨拶の励行	「生徒は、挨拶をきちんとしている」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	運動部に所属する生徒たちを中心に元気な挨拶が交わされ、その姿が他の生徒にも波及しています。	肯定的な回答率89%で達成	運動部員の元気な挨拶だけでなく、教員から生徒への挨拶も生徒たちに大きな影響を与えているので、今後も継続していきます。

1 教 学 改 革	イ. マナーやモラルの向上	「この学校の生徒は、携帯電話・スマートフォン使用のルールを守っている」(生徒アンケート)への肯定的な回答率80%以上	入学直後の新入生研修で生徒指導部よりSNSの誤った使用をしないように啓発をしています。また、クラスHRや学年集会などでも折に触れて指導しています。	肯定的な回答率78%で未達成	携帯電話に関する校則を遵守する指導とともに、携帯電話使用に関するマナー・モラルの重要性を訴えています。
	(4) 課外活動の活性化 ア. クラブ加入率	全校生徒のクラブ加入率60%以上	本校はクラブ活動と学業との両立を目指す生徒が多くおり、充実した学校生活を送っています。	クラブ加入率52%で未達成	2年 47.9%、1年 56.5%(3年生卒業後の数字)と加入率が伸びています。生徒が学校生活を充実させるためにも、クラブへの加入を呼びかけていきます。
	イ. 「強化指定クラブ」の強化	クラブ戦績	強化指定クラブ(アメリカンフットボール部、硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、テニス部、柔道部、ウエイトリフティング部)は、スポーツ推薦制度を活用し優秀な生徒の獲得に努め、熱心で充実した練習で全国大会出場をめざしています。	バレーボール部 全国大会出場 アメリカンフットボール部 全国大会準優勝	全国大会に出場したクラブを見習い、他のクラブも全国大会出場を目指していきます。
	ウ. 文化・芸術活動の充実	文化部の成績など	吹奏楽部の活動が充実してきており、複数のコンクールに出場し、入賞を果たしています。	第35回大阪府マーチングコンテスト 金賞受賞 代表獲得 第50回関西マーチングコンテスト出場 第49回大阪府アンサンブルコンテスト 金賞受賞 代表獲得 第49回関西アンサンブルコンテスト出場	文化祭(梧桐祭)でのクラス展示は、年々充実したものになっており、さらなるレベルアップを図っていきます。クラブ顧問、クラス担任、教科担任が連携を取り、適切な指導をおこなっていきます。
エ. 「学業とクラブ活動の両立」をめざして	「クラブ活動と学業を両立させるよう取り組んでいる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	クラブ顧問、クラス担任がそれぞれクラブに加入している生徒の成績に関心を持ち、適切な指導をおこなっています。	肯定的な回答率91%で達成		
2 進 路 指 導 の 発 展	(1) 進路指導部の充実 ア. 生徒の多様な受験(進路)への対応	「学校の先生は、進路についての情報をよく知らせてくれる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	系列の大阪産業大学への内部推薦制度を活用して大学進学する生徒を中心に、スポーツ推薦制度、他大学との高大連携プログラムで進学する生徒、一般受験で大学合格をめざす生徒と、多岐にわたる生徒の進路希望に対応する指導を行っています。	肯定的な回答率91%で達成	進路指導部は学年と連携し、進路に必要な情報を共有するようになっていきます。
	(2) 附属高校から大阪産業大学への内部進学対策 ア. 高大連携の充実	各種説明会の実施	本校進路指導部と大学の入試センターが中心になり、生徒たちが進路先において有意義な生活を送ることができる取り組みをおこなっています。	予定していた各種説明会は滞りなく実施	本校と大阪産業大学との連携を緊密にし、各種説明会が充実したものになるように取り組んでいきます。

	(3) 他大学への進学	進学実績の向上	特進コースは、週39時間授業、放課後の特別講座、早朝・終礼テストを実施し、大学入試に合格するための取り組みをおこなっています。	国公立大学の合格者は8名、関関同立の合格者51名、産近甲龍の合格者137名で、特進コースの関関同立の合格者数が大きく伸びました。	特進コースを中心に、進学実績の向上に努めていきます。
3 防 災 安 全 対 策	(1) 防災対策の徹底 ア. 防災意識の向上	防災訓練	本校は全校生徒数が多く、コロナ禍の中訓練で校庭に集合させることを避けたため、生徒に火災や地震が発生したときに発動する火災報知器や緊急地震速報の音を放送し周知させるとともに、避難経路も確認させました。	実際の移動を伴う訓練はできなかったが、生徒たちの防災への意識を高めることはできたと思います。	災害発生時に近い状況を想定した訓練の実施を計画していきます。
	(2) 安全対策の徹底 ア. 通学時における安全対策の強化	「生徒は、自転車や歩行の交通ルールを守っている」 (生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	「交通安全週間」を設け、各クラスで担任が、特に自転車の乗車マナーの向上やルールの遵守について啓発しました。	肯定的な回答率83%で未達成	折に触れて、クラス担任を通じ、生徒に乗車マナーの向上について啓発していきます。